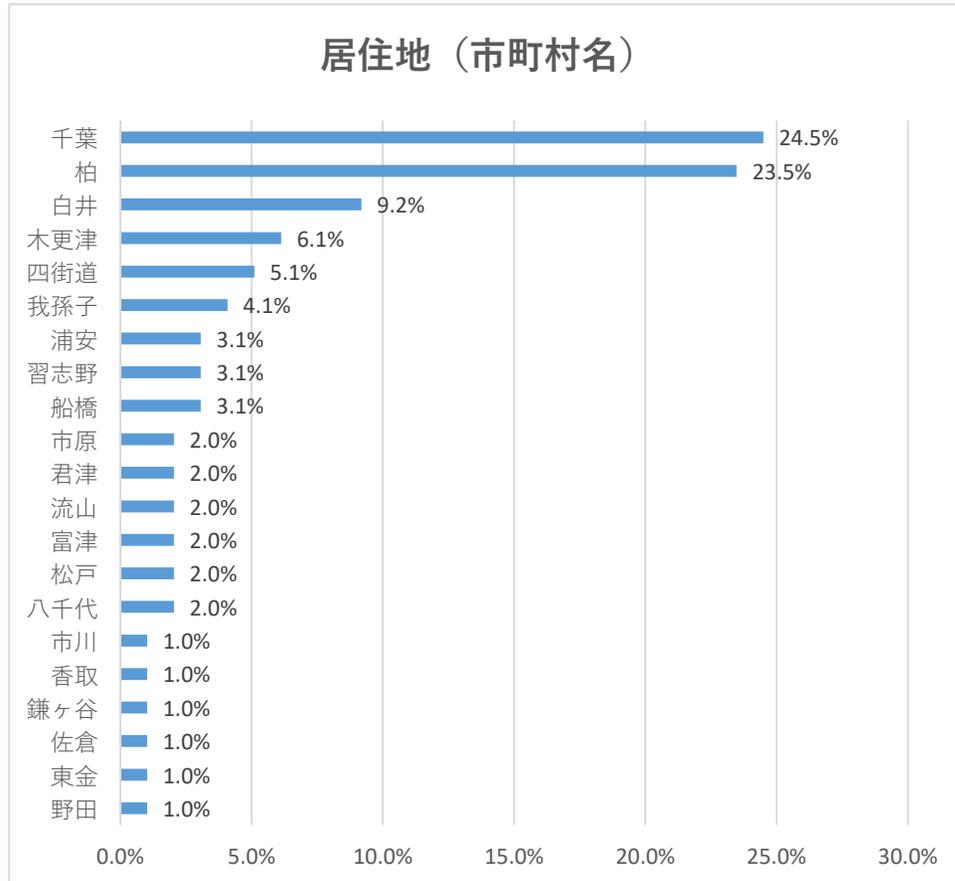


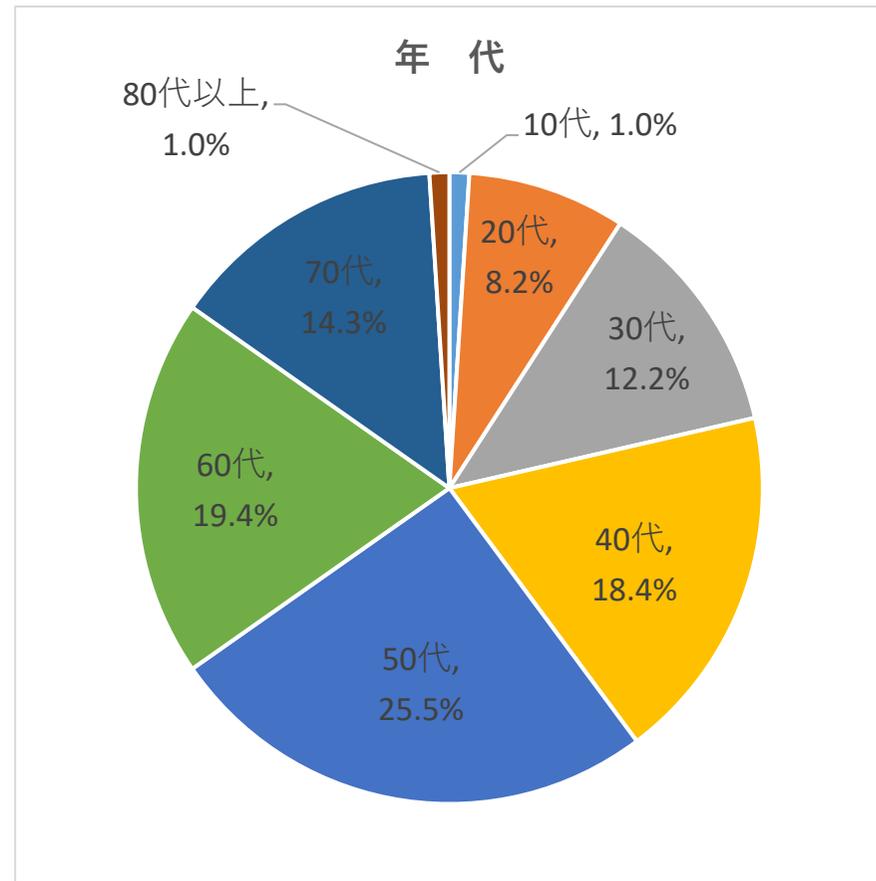
令和4年度 県民の生涯学習に関する需要調査

- 1) 目的 県民の生涯学習に関する状況及び需要を継続的に調査することで、本県の生涯学習推進施策に還元するとともに、結果を県関係機関や市町村等に提供することで、地域における生涯学習の推進に寄与する。
- 2) 調査期間 令和4年11月15日～12月31日
- 3) 調査対象 県民
- 4) 調査方法 インターネットによる回答（さわやかちば県民プラザホームページ内アンケートフォームに回答）
- 5) 回答数 ア. 調査回答数 104 イ. 有効回答数 98
- 6) 調査結果の見方
- ・比率は全て百分率（%）で示し、小数点以下第2位を四捨五入して算出している。このため、合計が100.0%とならない回答もある。
 - ・「複数回答可」とは、1人が2つ以上の回答をしてもよい設問をいう。
 - ・「その他」の記述による回答については、前項質問で「その他」を選択している場合のみ記載してある。

2 調査結果

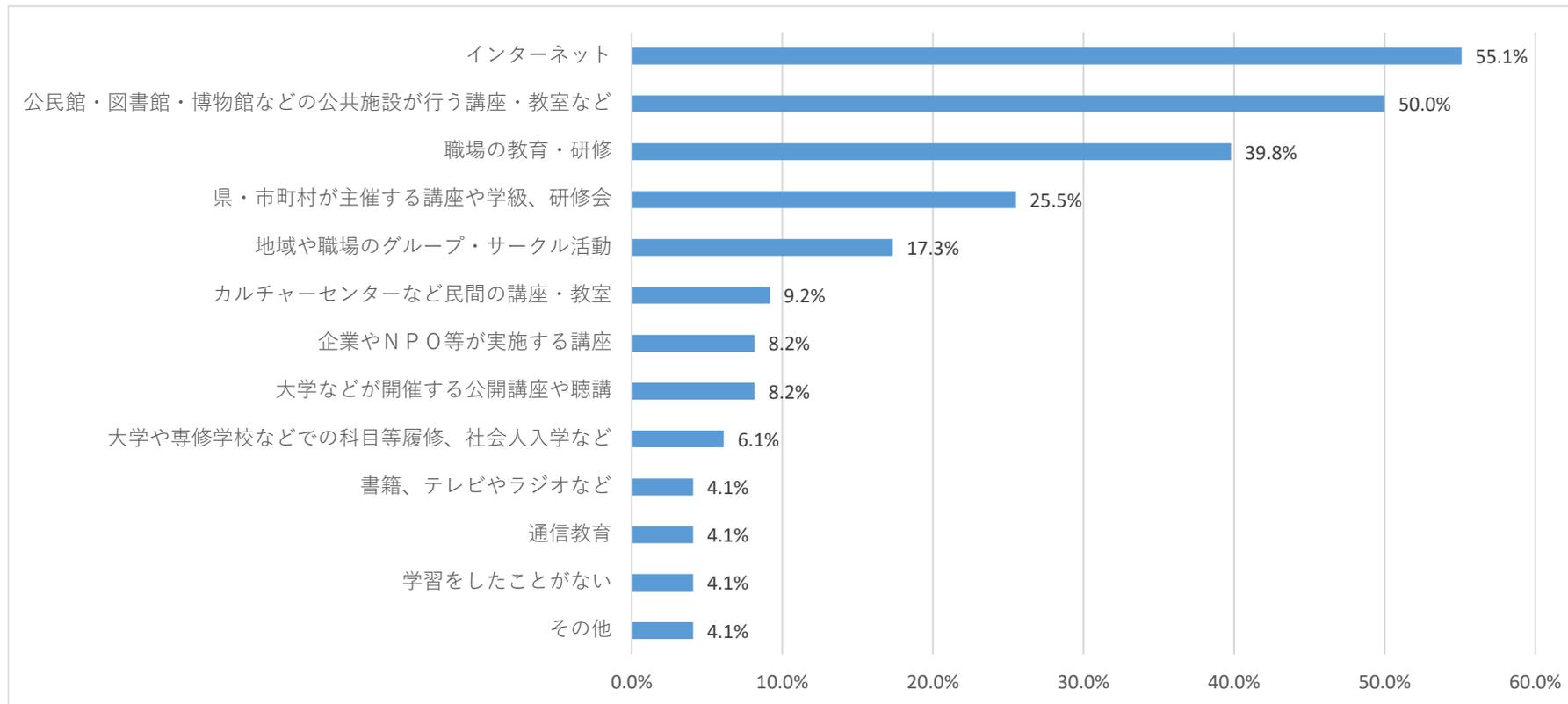


○居住地割合では、千葉市・柏市での回答者の割合が多く2市の計で全体の48.0%を占めた。



○年代別では、50代の回答割合(25.5%)が一番多く、50代を境に若年層・高年層になるほど回答割合が少ない傾向がみられた。

Q1. この1年間に、どのような場所や形態で学習したことがありますか。(複数選択可)

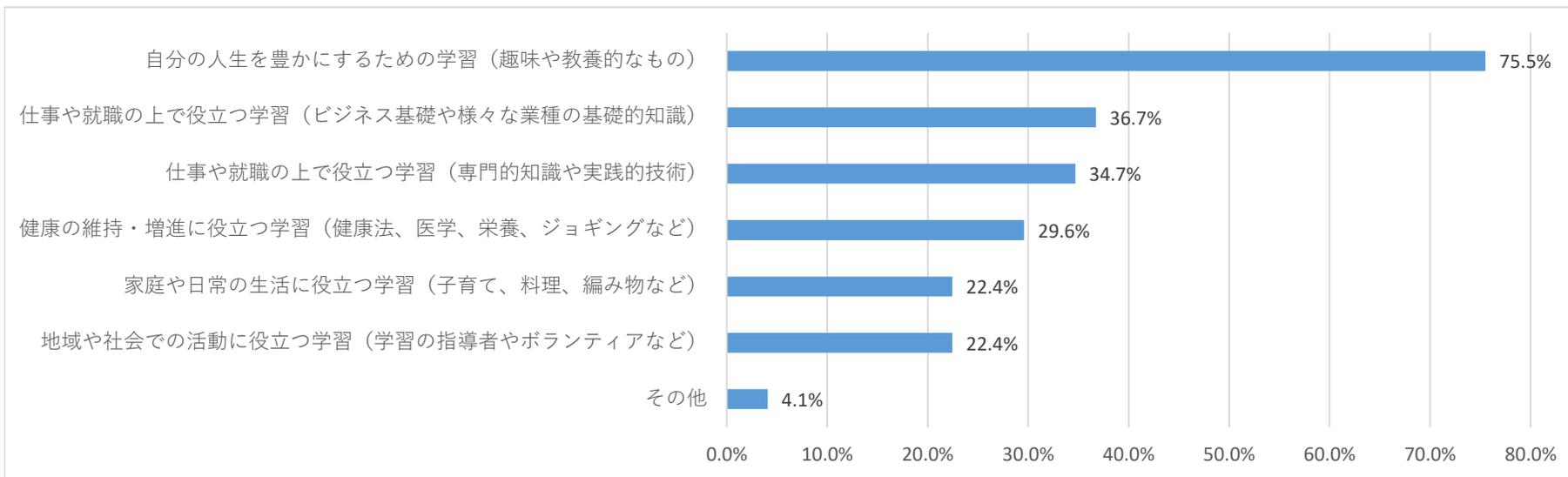


○「インターネット」(55.1%)、「公民館・図書館・博物館などの公共施設が行う講座・教室など」(50.0%)で学習したことがあるとする回答が高い割合を示した。次いで「職場の教育・研修」(39.8%)、「県・市町村が主催する講座や学級、研修会」(25.5%)の割合が高かった。

Q1-1. Q1での「その他」の回答。

- ・ コワーキングスペース
- ・ 音楽スタジオでのドラム練習
- ・ ラジオ英会話
- ・ 他地域への旅の中で行った博物館や、旅そのものの中で。

Q2. Q1で「学習をしたことがない」以外を答えた方は、この1年間に行った学習はどれですか。（複数回答可）

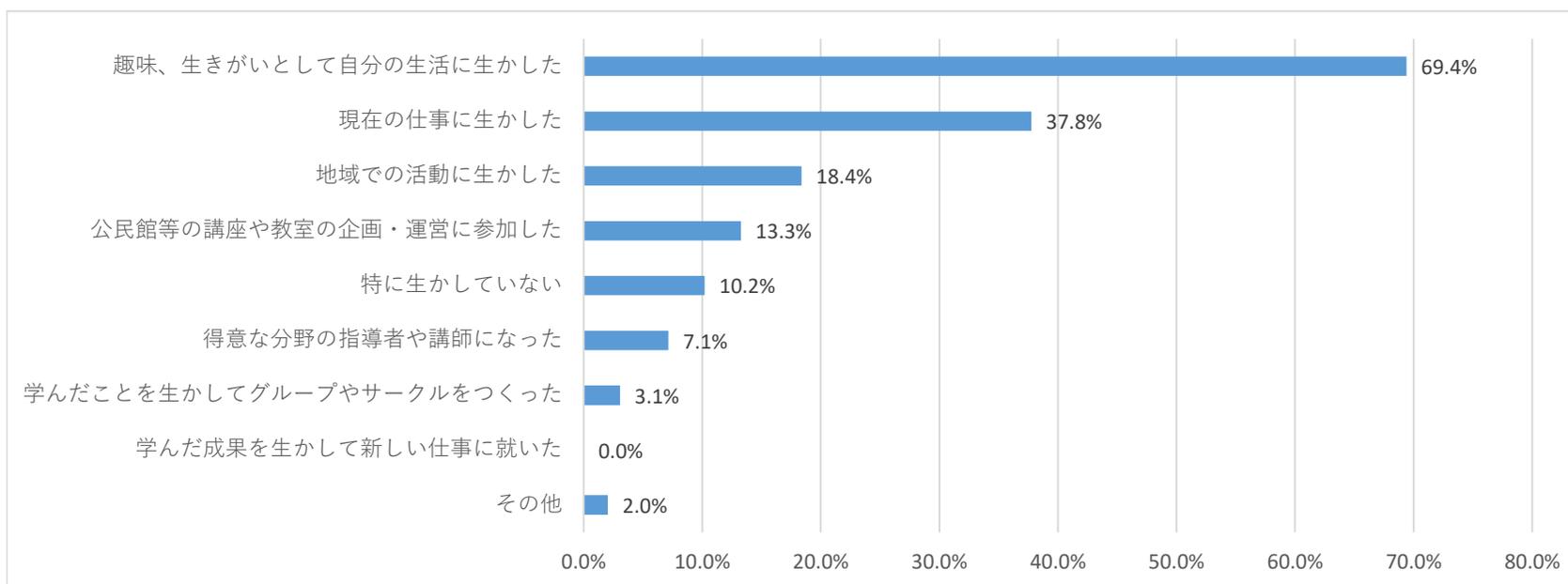


○「自分の人生を豊かにするための学習 (趣味や教養的なもの)」(75.5%)の割合が最も高く、次いで「仕事や就職の上で役立つ学習 (ビジネス基礎や様々な業種の基礎的知識)」(36.7%)、「仕事や就職の上で役立つ学習 (専門的知識や実践的技術)」(34.7%)、「健康の維持・増進に役立つ学習 (健康法、医学、栄養、ジョギングなど)」(29.6%)が割合が高かった。

Q2-1. Q2での「その他」の回答。

- ・受験
- ・通信セミナー（安全保障、国際時事、経済、経営、歴史(世界史、日本史)等
- ・エンディングノートの作成、地域の歴史を学ぶ

Q3. Q1で「学習をしたことがない」以外を答えた方は、これまでの学習を通じて学んだ知識や技能、経験を、この1年間でどのように生かしましたか。（複数回答可）

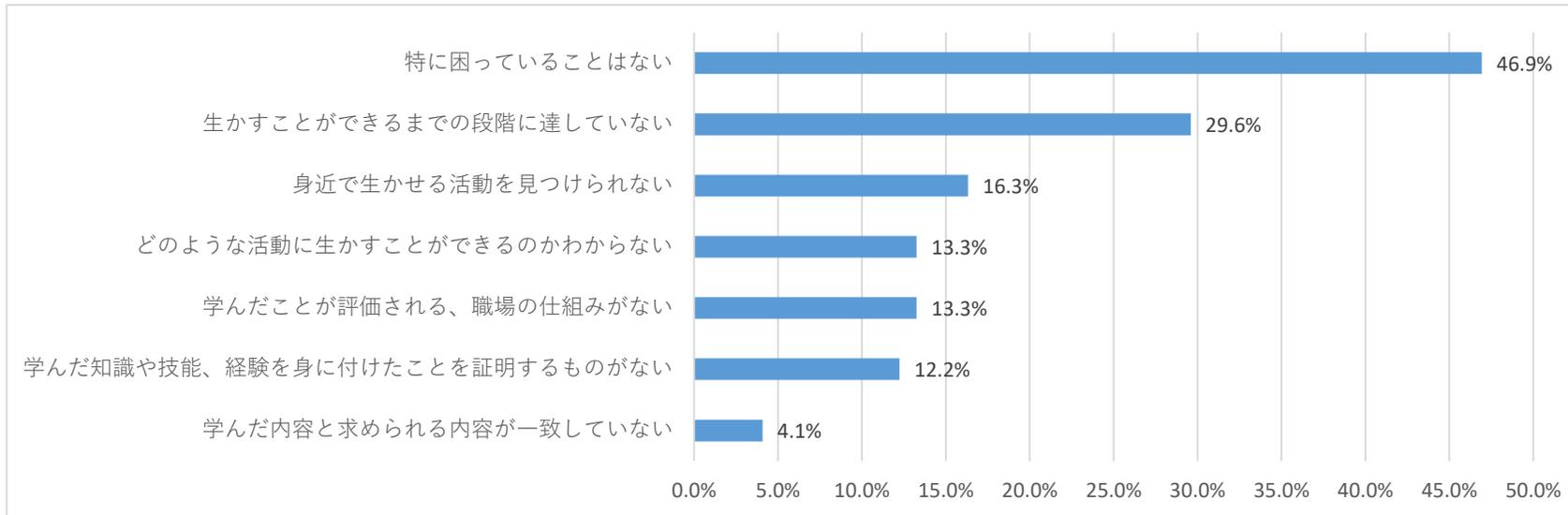


○「趣味、生きがいとして自分の生活に生かした」(69.4%)の割合が最も高く、次いで「現在の仕事に生かした」(37.8%)の割合が上位を占め、Q2の1年間に行った学習の項目の割合と類似する形になっている。

Q3-1. Q3での「その他」の回答。

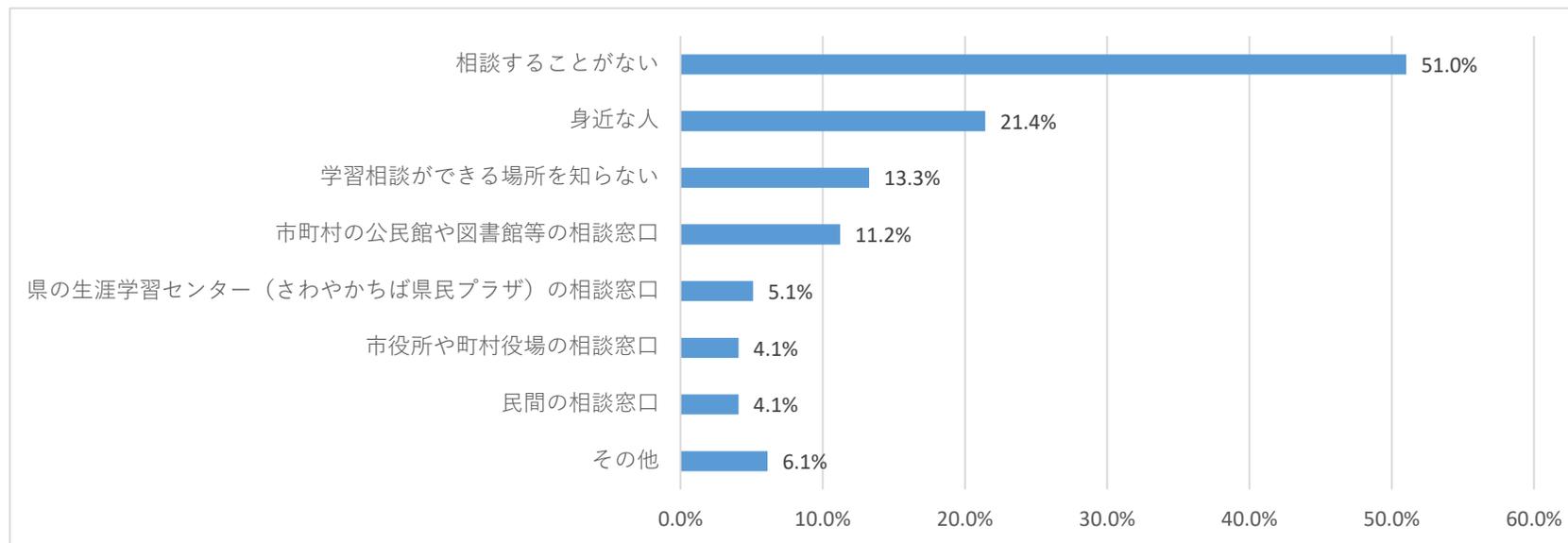
- ・自己肯定感やコミュニケーション能力向上
- ・知識の追加、人生の終活

Q 4. これまでの学習を通じて学んだ知識や技能、経験を生かす上で困っていることはなんですか。(複数回答可)



○「特に困っていることはない」(46.9%)が約半数を占めている一方、学んだ知識や技能、経験を生かす上で困っていることで一番多い理由は「生かすことができるまでの段階に達していない」(29.6%)であり、次いで「身近で生かせる活動を見つけられない」(16.3%)となっていた。

Q 5. 自分の希望に合う学習やそれを生かす機会を見つけるために、どこで学習に関する相談をしていますか。(複数回答可)



○「相談することがない」(51.0%)としている一方、相談する場合は「身近な人」(21.4%)と最も高い。一方で、「学習相談ができる場所を知らない」(13.3%)もいる。

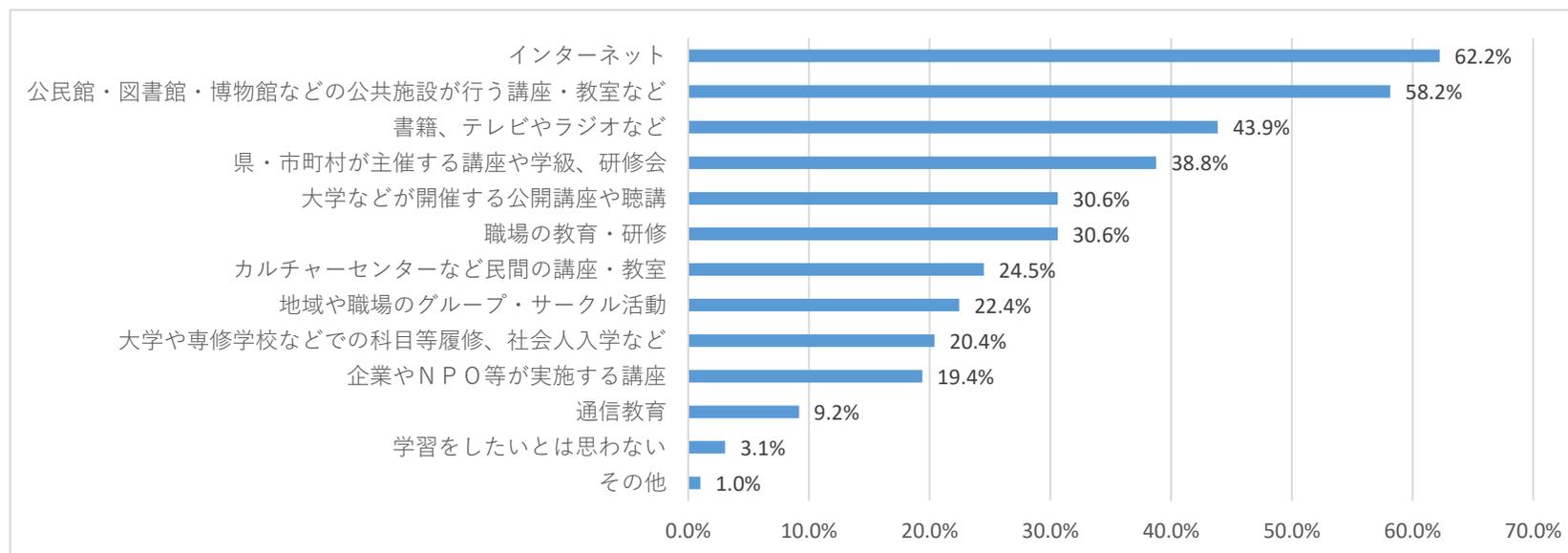
Q 5-1. 自分の希望に合う学習やそれを生かす機会を見つけるために、どこで学習に関する相談をしていますか。(具体的に)

- ・ SNS、ネット検索などを参考にして情報を収集している
- ・ 職場のスタッフ
- ・ 日本産業カウンセラー協会の説明会
- ・ 通信会社のスマホ教室

Q5-2. Q5での「その他」の回答。

- ・公民館職員なので、ある程度の情報を得やすい
- ・市民活動支援センター
- ・ネット検索(2)

Q6. 今後、どのような場所や形態で学習したいですか。(複数選択可)

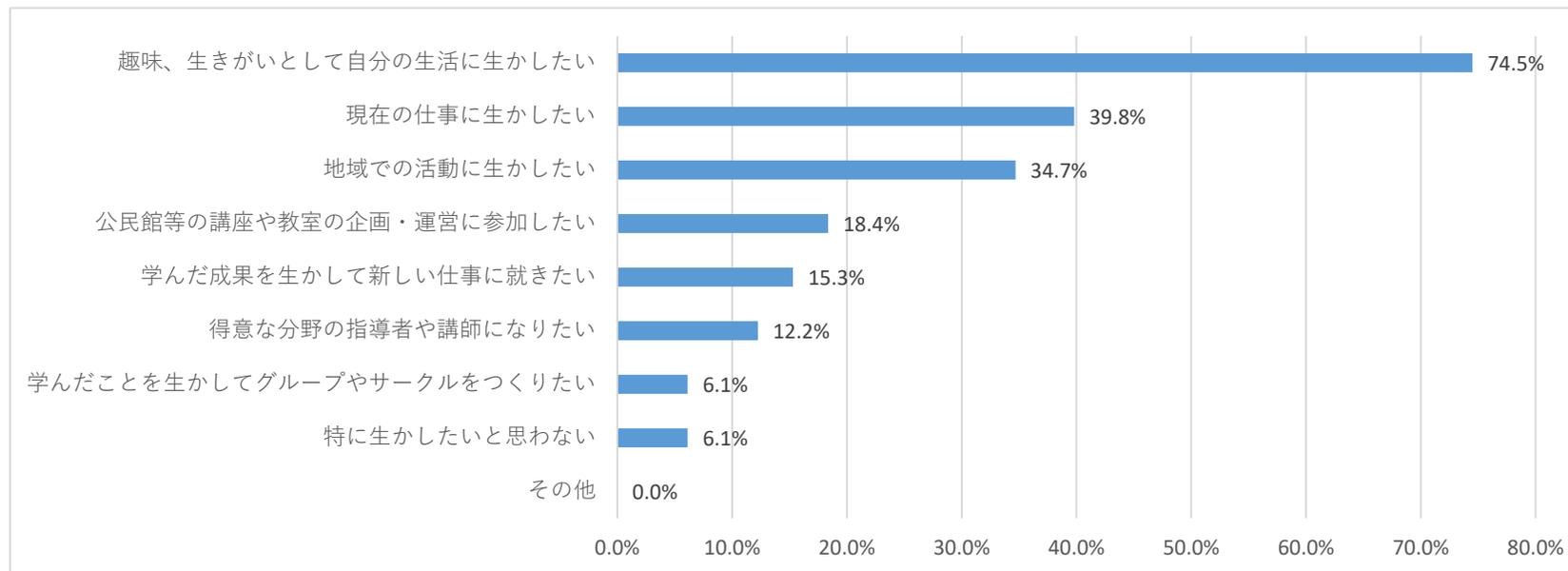


○回答割合が多い上位2項目「インターネット」(62.2%)・「公民館・図書館・博物館などの公共施設が行う講座・教室など」(58.2%)は、Q1「この1年間に、どのような場所や形態で学習したことがありますか。」の回答と同様であった。またQ1で「書籍、テレビやラジオなど」(4.1%)であったが、この設問では43.9%の回答があり、この1年間に学習しなかった形態を今後の希望する形態にあげる人が多い特徴がみられ、この特徴と同様の項目が複数あった。

Q 6-1. Q 6での「その他」の回答。

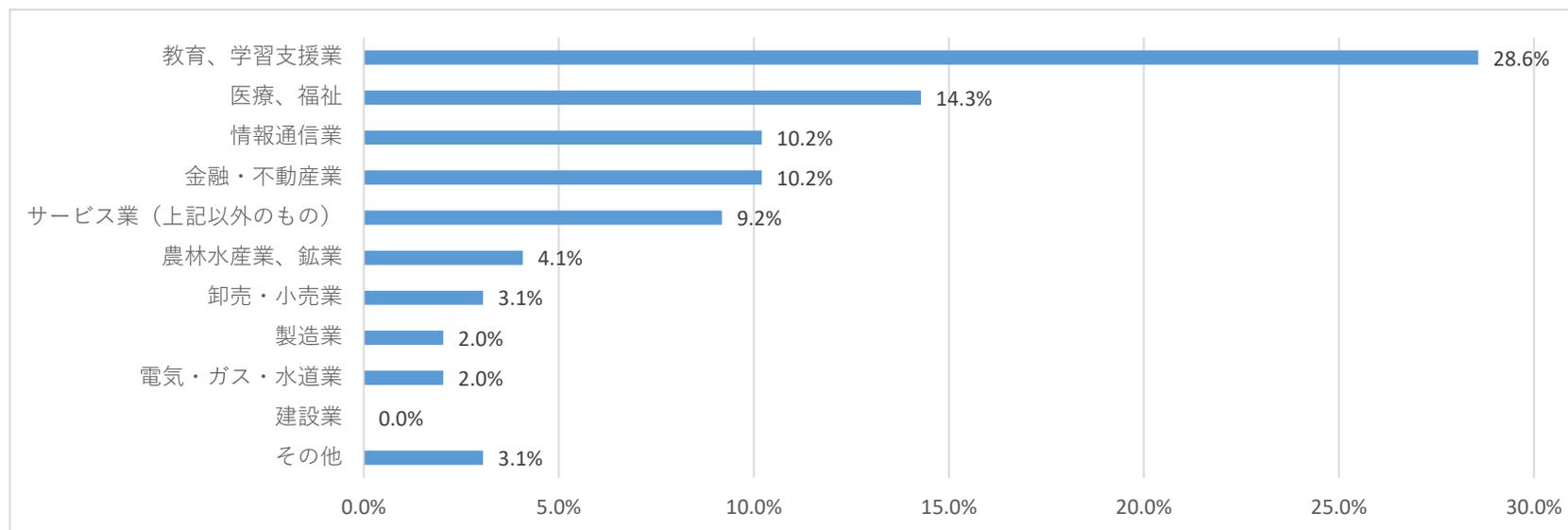
○様々な所へ行って見て、見聞をもう少しでも広げたい。

Q 7. 今後、これまでの学習を通じて学んだ知識や技能、経験を、どのように生かしたいですか。（複数選択可）



○回答割合が多い上位4項目の順は「趣味、生きがいとして自分の生活に生かしたい」・「現在の仕事に生かしたい」・「地域での活動に生かしたい」・「公民館等の講座や教室の企画・運営に参加したい」は、「Q 3. これまでの学習を通じて学んだ知識や技能、経験を、この1年間でどのように生かしましたか。」での上位4項目と同様であった。特に上位2項目は割合もほぼ同じであった。「地域での活動に生かしたい」・「学んだ成果を生かして新しい仕事に就きたい」はそれぞれ16.3%、15.3%の増加がみられた。

Q8. Q7で「現在の仕事に生かしたい」または「学んだ成果を生かして新しい仕事に就きたい」と答えた方は、どの業種に関する学習に興味がありますか。（複数回答可）

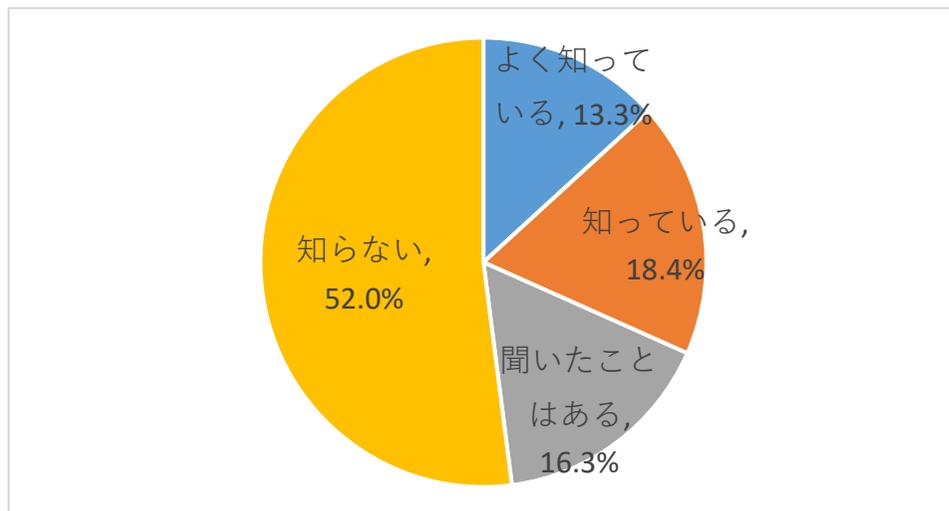


○「教育、学習支援業」（28.6%）の業種への興味が最も高かった。次いで「医療、福祉」、「情報通信業」・「金融・不動産業」の順で割合が高く10%を超えた。

Q8-1. Q8での「その他」の回答。

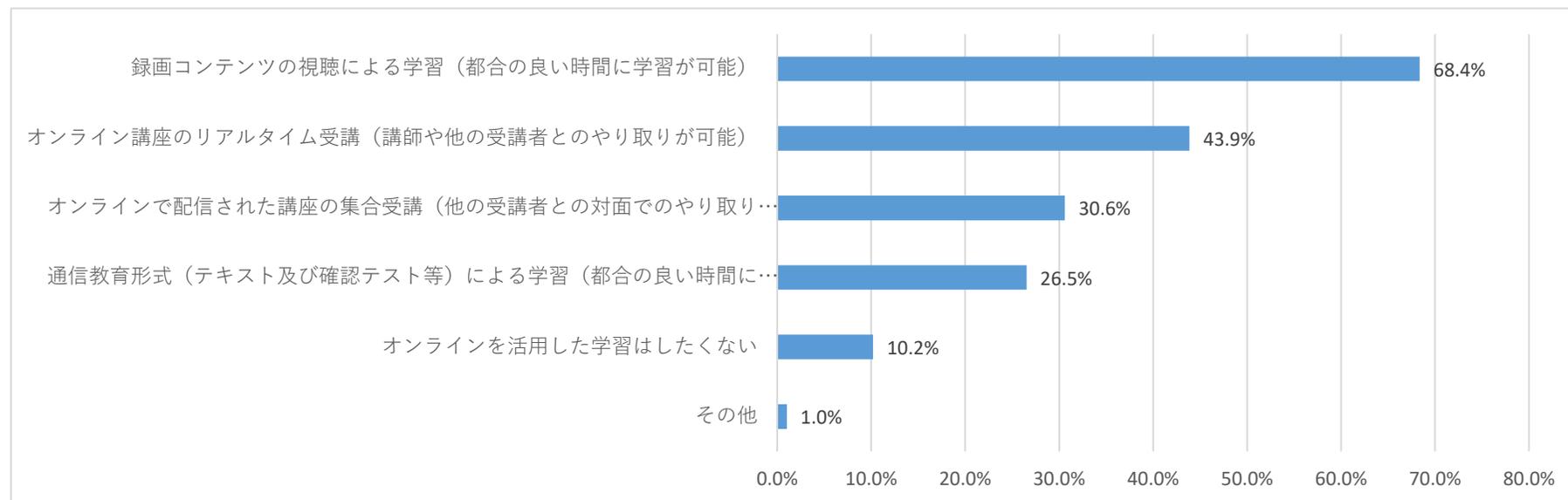
- ・カウンセラー
- ・芸術・エンターテイメント

Q9. 「リカレント教育」という言葉を知っていますか。



○「リカレント教育」という用語及びその内容をどれくらいの方が認知しているのかを調査する項目として設定をした。結果、「聞いたことはある」または「知らない」と68.3%の方が回答していることから、「リカレント教育」の認知度は低いと考えられる。

Q10. 今後、オンラインを活用した学習として、どのような形態で学習したいですか。（複数回答可）

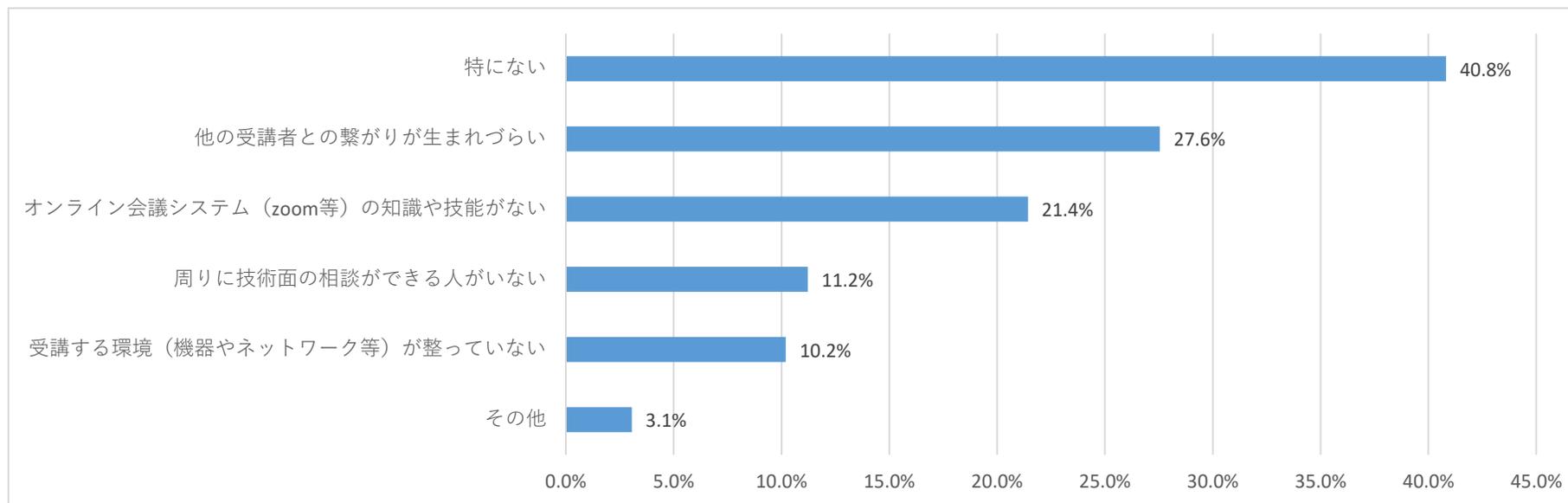


○「録画コンテンツの視聴による学習（都合の良い時間に学習が可能）」(68.4%)の割合が最も高い。一方で「オンライン講座のリアルタイム受講（講師や他の受講者とのやり取りが可能）」(43.9%)による受講形式を希望する割合も次に高い。

Q10-1. Q10での「その他」の回答。

・メタバース

Q11. オンラインを活用した学習を行う上で困っていることは何ですか。（複数回答可）

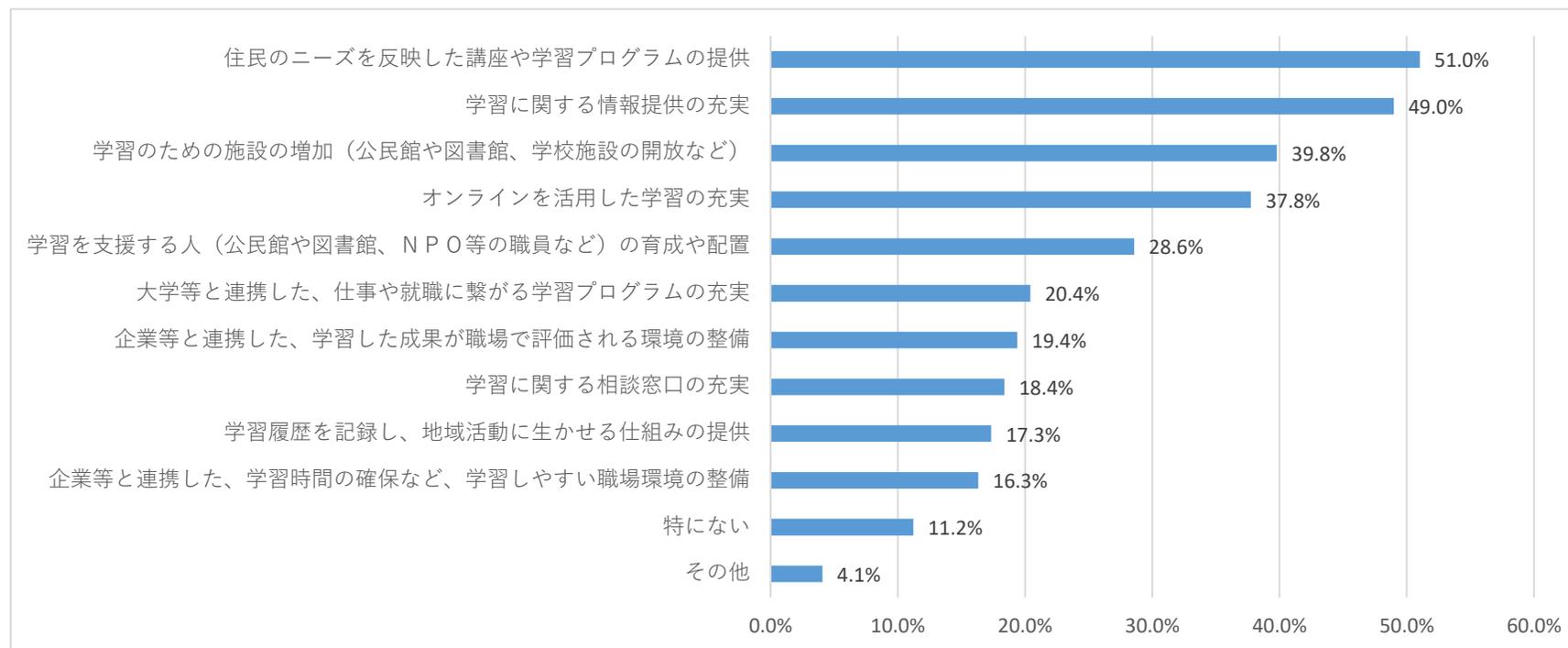


○「特にない」が40.8%である。一方、オンラインを活用した学習を行いきにくい（行えない）ことに該当する「オンライン会議システム（zoom等）の知識や技能がない」(21.4%)・「周りに技術面の相談ができる人がいない」(11.2%)・「受講する環境（機器やネットワーク等）が整っていない」(10.2%)の割合を合わせると42.8%あった。

Q11-1. Q11での「その他」の回答。

- ・緊張感が生まれない
- ・空間・時間的な情報量不足やラグ
- ・自分にマッチしたものが少ない・無い

Q12. 県民の生涯学習をもっと盛んにしていくために、県や市町村はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。 (複数回答可)



○「住民のニーズを反映した講座や学習プログラムの提供」(51.0%)及び「学習に関する情報提供の充実」(49.0%)の回答が上位であった。次いで「学習のための施設の増加（公民館や図書館、学校施設の開放など）」(39.8%)・「オンラインを活用した学習の充実」(37.8%)であった。

Q12-1. Q12での「その他」の回答。

- ・情報の発信を広くしてほしい。どこかのページまで行かないと知らない事が多いので、もうすこし周知してもらえると良いなと思います。
- ・開催、主催する公民館などの施設での、Wi-Fi環境の整備が絶対に早急に必要だと思う。
- ・県民プラザの場合 駐車料金が高いと思います。市の施設でもこんなに駐車場料金を取る所はないと思います。絵画室の場合部屋の使用料も高いので。
- ・学習する場所へのアクセスを良くする。図書館、公民館などへのバスルート環境整備を整えることが大切です。参加したくても行く所がない。

令和4年11月15日～12月31日までの期間に実施した「県民の生涯学習需要調査」の調査結果を公表いたします。ご回答いただきました結果を参考に、今後の取り組み・施策等に生かしていきたいと考えております。

たくさんの県民の皆様にご協力をいただき誠にありがとうございました。